

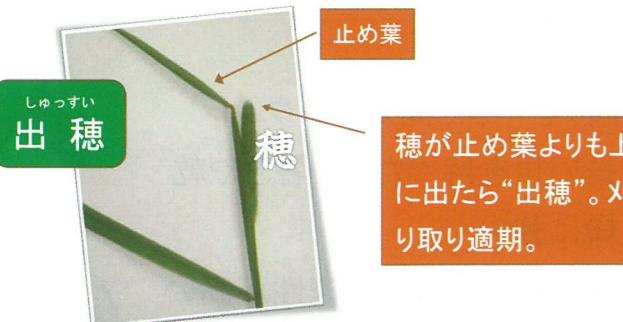
シバムギ

根の長さは
400 km / 10a
にも…



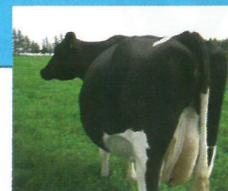
- ✓ 倒伏して多収のようでも、収量はチモシー以下
- ✓ “腐れサイレージ”になりやすい
- ✓ 更新する際、徹底的にこらしめる
除草剤散布して約2週間、根までまいらせる

MEMO



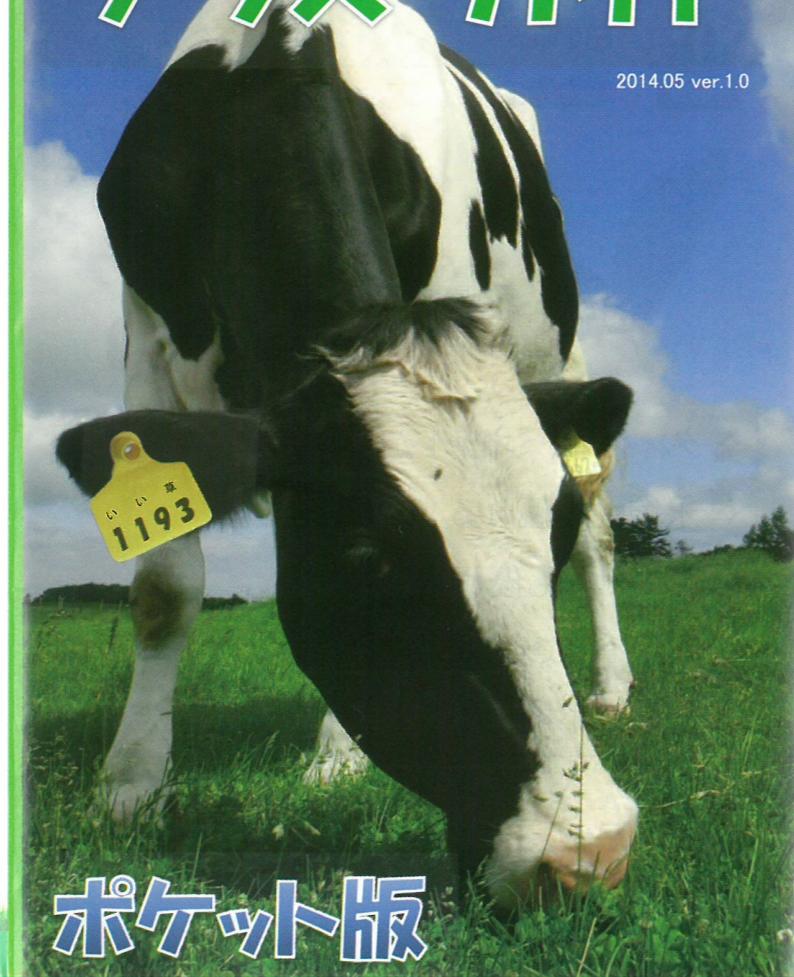
嗜好性や栄養価の高い基礎飼料(粗飼料)でルーメンを満たすことは、生乳生産性を向上させる最大級のポイントとなるでしょう。

植生改善・土壌診断・施肥・種子選択などのご相談は、JAまたはホクレン、雪印種苗株などへ



グラス・ガイド

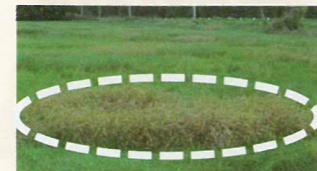
2014.05 ver.1.0



リード

リードカナリーグラス

始めは点在するように群生(地下茎)
葉は幅広くて粗剛(ゴワゴワ感)
茎が太いので目立つ



硬
太

- ◇ 生育が早い
- ◇ 収量は多い
- ✓ 水はけの悪い草地で増えやすい
- ✓ 生育すると嗜好性・消化性は著しく悪化
- ✓ “腐れサイレージ”になりやすい
- > リード優占草地は早刈りする
- > 防除法はシバムギと同じ

黒穂

メドウフォックステール

黒い穂
生育が非常に早い(出穂が一番早い)
見た目はチモシー似



- ✓ 強害雑草!
- ✓ 徐々に広がりつつある
- ✓ 出穂以降は使い物にならない(栄養価、嗜好性ともNG)
- ✓ 夏以降になると、それほど穂は黒くならない
- ✓ 圧倒的に種子で増える
開花前に刈り取らないと広がりやすい。
- ✓ 除草剤による防除
(2回掛け)



結実

草地へのタンカル

酸性化した土壌では、リン酸等の肥料の効きを悪くし、牧草の生育や収量を低下させ、雑草の侵入や繁茂を助長します。牧草の生育しやすい土壌環境を整えるためにも約40~50kg/10a・年のタンカル補給。植生改善への多くの配慮をチャラにしないため、1~2年毎の散布は欠かせません。



お勧め HP: ゆきたねネット [ゆきたね](#) [検索](#)

牛が「食べる草」は牛が「食べたい草」と同じとは限りません

1本でも多くの草を牛の「食べたい！」にチェンジ

理想は「草地の全面が牧草でおおい尽くされ、それらを適期に収穫すること」。しかし現実は、ほぼ半分が雑草や裸地に占拠され、さらに天候などに左右される収穫時期…。

目の前の草地から牛が一口でも余計に食べたいと思わせる草をつくるため、計画的に更新を推し進めていく他にも、「ペレやオーチャードなども取り入れ、植生に多様性を持たせ、収穫時期も分散化させる」、「再生力の旺盛な牧草で雑草の抑制を図る」、さらに「追播による植生の維持」など様々な手法があります。草の価値を高めることは、酪農経営の基盤強化にもつながります。



<植生>		
草地	1番 A	2番 A'
ほぼ牧草	A	A'
そこそこ牧草	B	B'~C
ほぼ雑草	B'~C	C'



収穫されたサイレージ等の牛の満足度
65 点くらい?

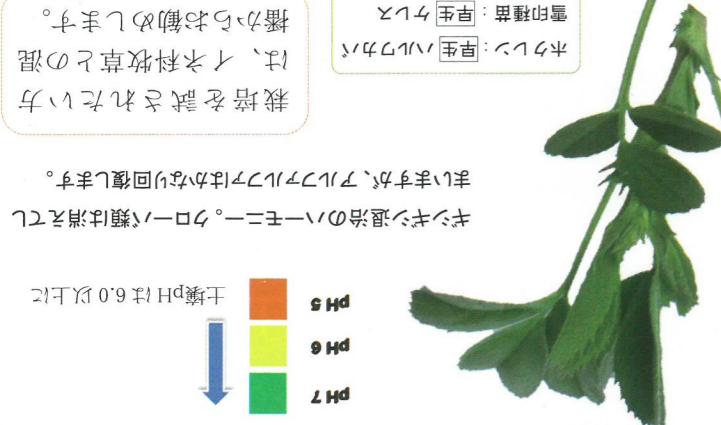


<植生>				
草地	1番 A	2番 A'	3番 B	4番 C
ほぼ牧草	A	A'	B	B'
そこそこ牧草			B'~C	C
けっこう牧草			①番 A	②番 A'



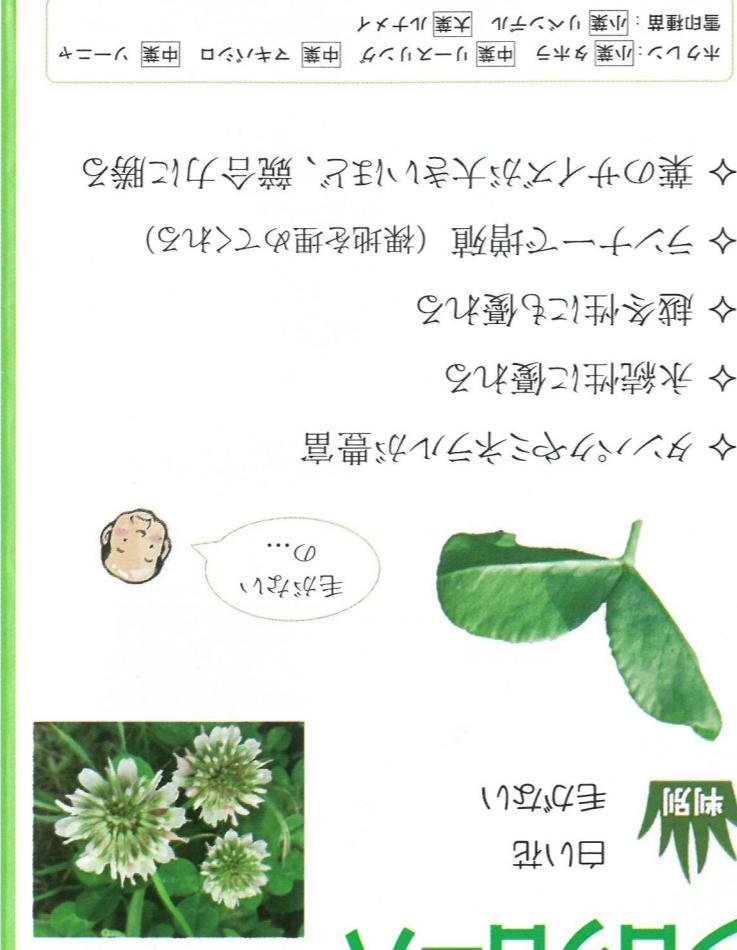
85 点以上!

釧路農協連・ホクレン・雪印種苗株



- ◆ 腐葉地・適耕地で水耕性が高くなる。
- ◆ 土壤 pH 値 6.0 以上で栽培が可能となる方。
- ◆ 土壤 pH 値 6.0 以上で栽培が可能となる方。
- ◆ 土壤 pH 值 6.0 以上で栽培が可能となる方。
- ◆ 土壤 pH 値 6.0 以上で栽培が可能となる方。

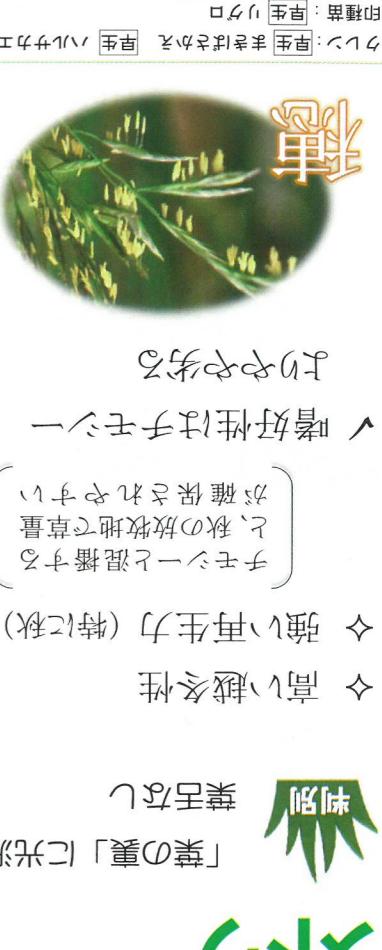
「草」の特徴



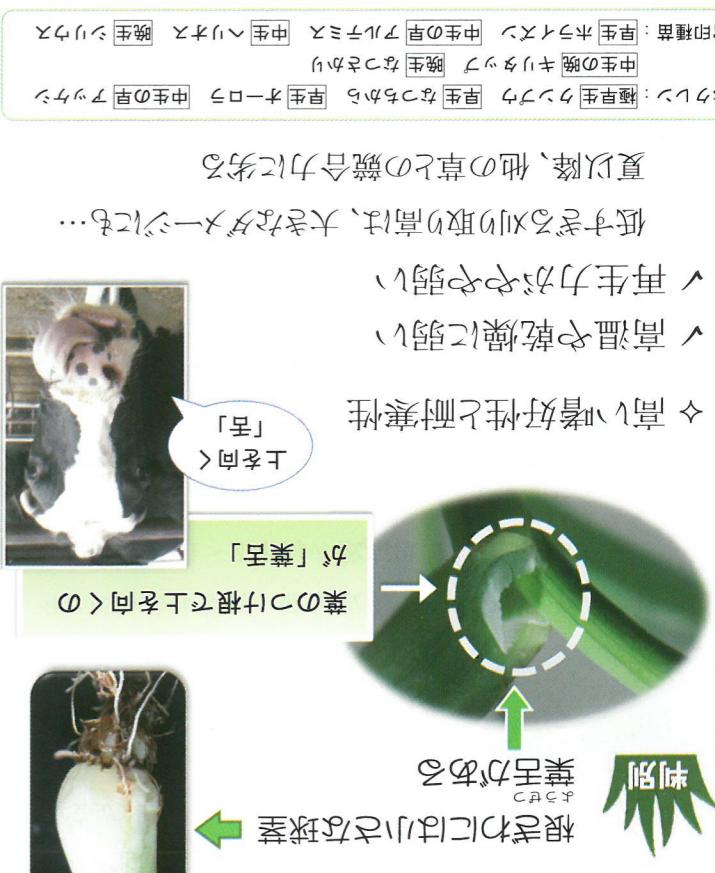
「草」の特徴



「草」の特徴



「草」の特徴



「草」の特徴